

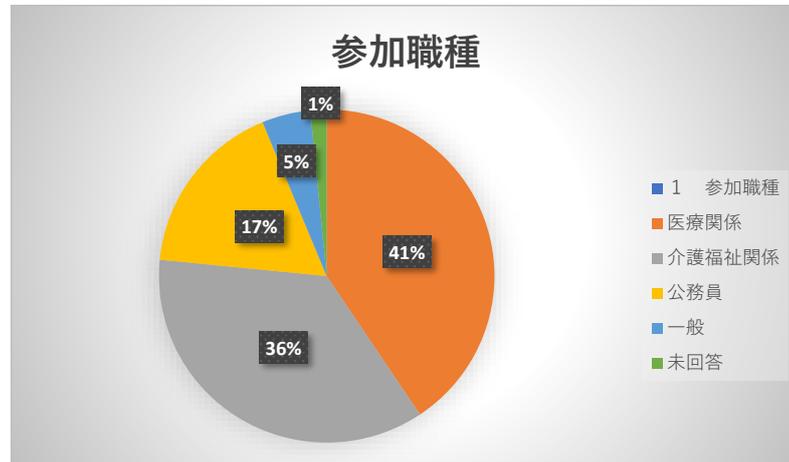
資料 1

第1回「カシオペアNETフォーラム」開催結果

テーマ 「下り坂を支援する介護・ケア」
 講師 武蔵国分寺公園クリニック名誉院長
 名郷 直樹 氏
 開催日時 令和5年2月21日（火）
 18時30分から
 開催場所 二戸パークホテル
 参加者数 78名
 アンケート数 64名（82.1%）

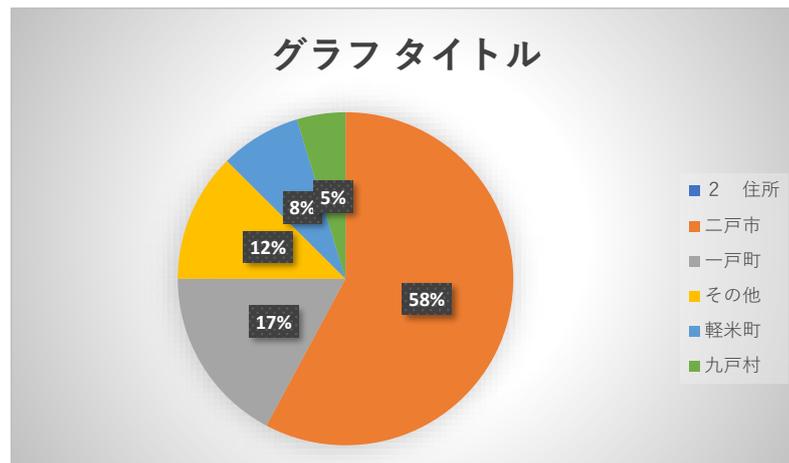
1 参加職種

医療関係	26
介護福祉関係	23
公務員	11
一般	3
未回答	1



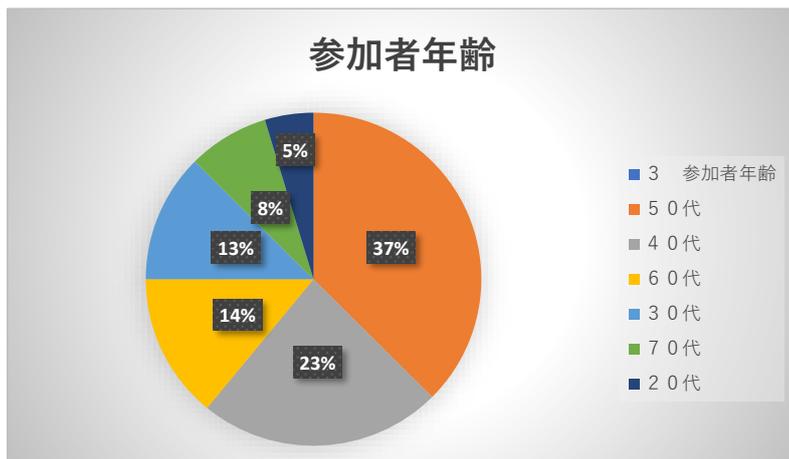
2 住所

二戸市	37
一戸町	11
その他	8
軽米町	5
九戸村	3



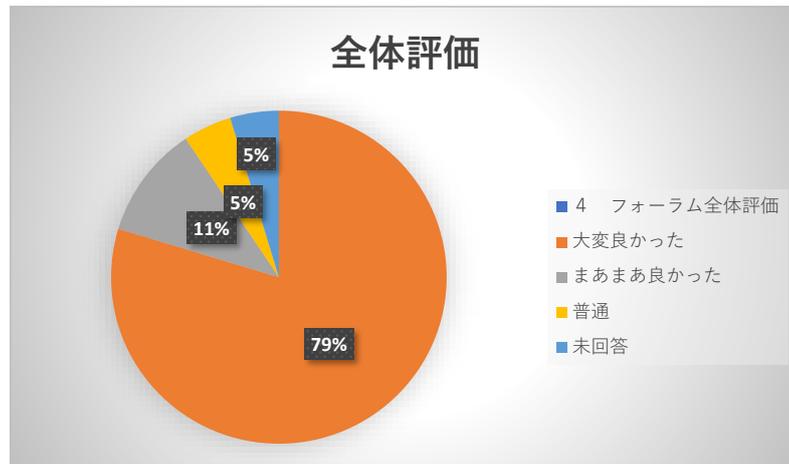
3 参加者年齢

50代	24
40代	15
60代	9
30代	8
70代	5
20代	3



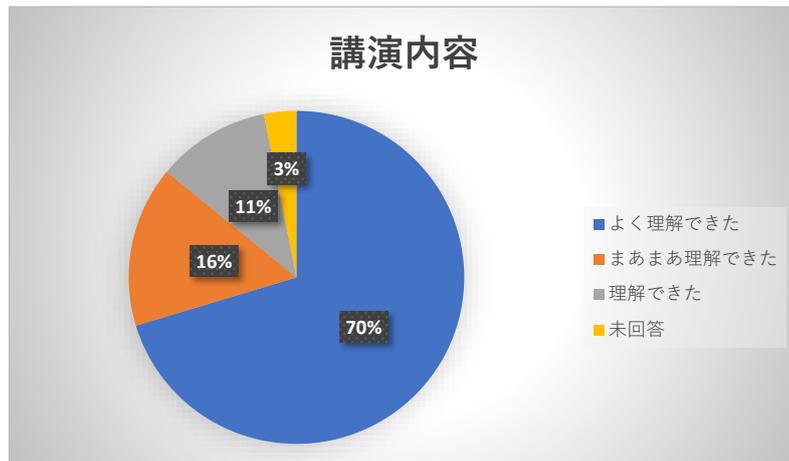
4 フォーラム全体評価

大変良かった	51
まあまあ良かった	7
普通	3
未回答	3



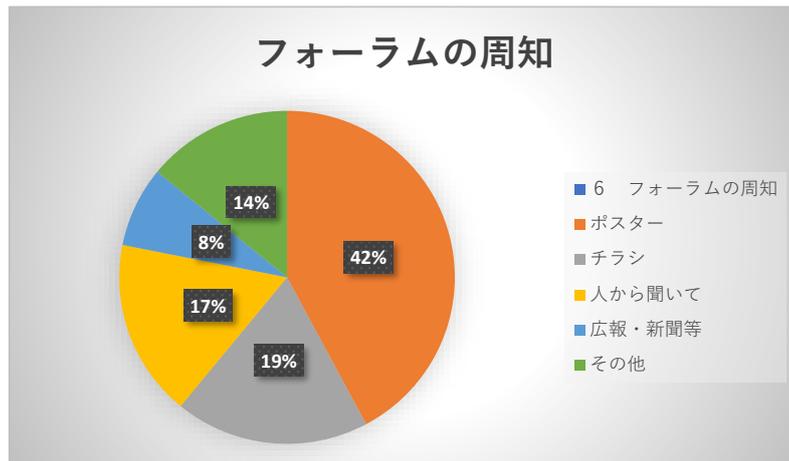
5 講演内容評価

よく理解できた	45
まあまあ理解できた	10
理解できた	7
未回答	2



6 フォーラムの周知

ポスター	27
チラシ	12
人から聞いて	11
広報・新聞等	5
その他	9



7 感想

<p>名郷先生のエネルギッシュなお話し、ありがとうございました。you tube見てみたいと思います。遠くからありがとうございました。</p>
<p>先生の講演に心打たれました。是非、本を読ませていただきたいと思いました。久しぶりに真剣に考える時間をいただくことが出来ました。ありがとうございました。</p>
<p>「今は幸せにつなげたい」という言葉が響きました。つい明日のことを言ってしまうがちということに気づかされました。本を読んでみたいと思います。</p>
<p>出来ない事、できなくなることを否定しない考え方に共感した。そこをどう支えるのか、ケアするのが大事である。そこに携わり、患者の近くで支えているのが現場の介護職であると感じる。</p>

<p>支援する立場で行ってはいけないと思いつつ、「動けなくなっても仕方ないです。いずれそうなります。」「頑張っても通院しなくても」と最近、ご家族に言ってしまったことがあります。 そうしたら、ご家族の方がととても楽そうになりました。私自身もそういってもよかったのだと、今日のお話を聞いて少しホッとしました。</p>
<p>今までの介護は、最期をきれいな状態で見送れるようにという気持ちで家族や支援者とケアしてきて来たが、ご本人の低下していく段階を家族で見守りながら、最期を迎える、生活を支えるプロセスが大事なことを講演を聞いて認識することが出来た。</p>
<p>大変勉強になりました。本人が困っていない事を見つけ出したり、問題を病気に結び付けたり反省しています。今、そのようなケアが必要かを考えた言動をしていきたいと思います。</p>
<p>一般公演：いつもお世話になっております。キントーン利用でその時その時に高橋先生や訪看の皆さんとつながっている感じがしてとても頼りにしています。キントーンが皆さんが使えるようになって、情報共有ができるといいと思います。一戸病院の訪問診療ともつながると嬉しいです。特別講演：看取りのケアにも多く、携わらせていただきました。一度高橋先生が読んだ本を読んでみたいと思いました。音楽療法の話が出たときですか、自宅看取りをした利用者様の事を思い出しました。カラオケが好きである歌手の方の歌を歌っていたという話をご家族から聞き、訪問入浴の際にYouTubeでその方の曲を出してBGMとしてました。初めは口づさむことが出来ましたが亡くなる数日前は口を動かしていたけど声が出ない状態でした。亡くなってからご家族さんにいつも来てくれるのを楽しみにしていたことを言われたことを思い出しました。</p>
<p>ありがとうございました。今までの私、見直したいと思います。</p>
<p>特別講演に参加させてもらい、簡単に看取りと思ったが、なかなか難しさを感じました。ありがとうございました。</p>
<p>寝たきりにならないように、死なないようにをやめようという言葉がとても印象的でした。人の自然な老いに寄り添っていくことが大切だと感じました。</p>
<p>楽しく解りやすい講演会でした。</p>
<p>考え直すことたくさんありました。</p>
<p>今までの看取りに対する視点が全く違う角度からの見方、考え方を学んだ。重く受け止め知多部分が済故意軽くなったように感じた。老い(死)は当たり前ということを再認識した。今を大切に。ありがとうございました。</p>
<p>下り坂を支援するというのはやはり簡単ではないなと思いましたが素直な思いが聞けて良かったです。</p>
<p>ケアマネとして支援している際、「寝たきりにならないように」とか「食べれなくならないようにするためには？」ということを考えていたが、いずれそうなったら、その時にはどうするかということも家族に日頃から話していれば慌てずに対応できるのかなと思いました。</p>
<p>名郷先生のお話を聞きながら、実際の介護場面を思い浮かべ、もっと今の幸せを考えたり、寄り添って過ごしたいと思いました。</p>
<p>老いて、弱って、できていたことが出来なくなっていく。本来生きるものとして当然の最期をなるべく避けようとしながら仕事をしている。生物としての生き方をどう尊重していくか、何が正しいか決めること自体難しいと思いました。とても心に残る内容でした。</p>
<p>下り坂を支援する事。年を取ってから向上する事なく、衰えていくことを認めながらの支援の学びが新鮮でした。介護保険は低下予防、機能向上を目指すことを基本にしているから本人が寝ていたい、トイレいけないからおむつでいい。食べられなければ無理しなくてもよい。 本当にそれが望んでいる介護、ケアだと思いました。最期を本人の希望通りに看取ること、本当にその人の気持ちを大事にこれからも支援していきたいと思いました。お忙しいところ、本当にありがとうございました。</p>
<p>いわゆる外向きのお話しじゃなくて、本当の生死に関する話だと思った。</p>
<p>最低限の生活のケアはもちろん大事。その中にどのようにバラを盛り込むかという話にハッとさせられました。自分がその視点、忘れていたのではないかと・・・。普段の支援の中で大事にしたいと思う部分を改めて振り返ることができました。ありがとうございます。健康のために生活を犠牲にしてはならない。というクリニックの訪問診療の柱に感銘を受けました。</p>
<p>「死んでもいいんだよ」これは考えないようにしていた。今日講演を聞いて「いいんだ」と自分が解放された。</p>
<p>末期がんで自宅で看取りました。令和4年7月) 家族、一戸病院の訪看さんと相談しながら、浪岡DRと88歳の男性看取りましたが、今でもいろいろ考えます。何が正解か、わかりませんが息子さんはこれで良かったと言ってくれたのが救いです。ほかにもいろいろな患者さんがいて、介護につながりしています。本人の今までの生き方によって、介護と死についての考え方、勉強になりました。今日は大変ありがたい講演でした。ありがとうございました。</p>

下り坂の下りを支援する。住民のためとと思っていることが本当にそうなのかということを改めて考えるきっかけとなりました。
下り坂を認め、受け入れ、どう支援するかが大切だと思った。
自分の台頭している方の想いに今感じていることはどんなことだろう。（ガン末期、入院中、家で暮らせない。障がい者の娘と二人でどうしたら、心地よく、人生の最期を迎えることができるだろうとか考えながら、聞くことができた。はじめから無理ではなく、他職種連携。
死のない世界はない。人は死ぬし、弱るし、食べれなくなる。それを延々と延ばすのではなくいかに生き抜くか、生きるかが問題。その人にとっての「パン」であり、「ばら」を探すことは大事。
とても興味深いようでした。マイクの入りがきになった。
考え方として参考になりました。
ケアからバラとしての介護ケア、とても勉強になりました。是非、職場で実践につなげていきたいと思いました。
施設での看取りに対応していない。看取り目的で入院される方もいるが、そういう方に対しても脱水の傾向だからと、点滴が行われたり、酸素がうまく取り込めないとスタッフが不安でsんそうお投与したり、と本来の看取り～遠ざけてみ鳥が行われている現状が、どうしても病院で起きてしまうなと思ってしまいました。その日その日が幸せな看取りが出来たらと思います。
名郷先生のお話し、すべてがなるほどと感ずることばかりで良い気づきがありました。いいお話を聞けました。高齢の親がいるものとしていい時間でした。
考えることが多くあった内容でした。決めつけることなく、やわらかい対応が大切だと感じた。
一般参加したものです。現在、要介護2の母を冬の間、自宅でデイサービス、ショートステイを利用しながら介護しています。杖を突いてゆっくりしか歩けない状態です。主人の父は認知症で施設に入所要介護3です。義母は最近、亡くなった友達がうらやましいと言ったり、自分はいつまで生きるのかなと言います。おばあちゃんの人生のバラと一緒に探したいと思いました。今日はありがとうございました。
看取りの考え方について先生のおかんがえといっちしていたことに驚きました。

8 希望の講演

看取りでの私たちの考え方や姿勢とかは毎回、聞きたいと思います。やはり皆それぞれ考え方も違うので本を読んでからまた講演を聞きたいと思います。
次回も参加し、少しでもいろいろなことを勉強したいです。ありがとうございました。
今日の内容は一般住民の方にもっと聞いてほしい内容です。死んでいく事をお手伝いする事、ゴールすることはよいことなんだということが大切。家族側が何としてでもいゴールを先延ばしにしたいという思いが強すぎて、関係者もそれにこたえようとするのが現状です。
もう一回、上野先生を！
今日のお話をもっとたくさんの方の専門職や介護している方に聞いてもらいたい。
施設入所されている方の食事摂取について栄養士、調理師で明けてなく、介護職員も知ってほしいポイント等について聞いてみたいです。
いろいろな方の話を聞いてみたい。

9 その他

会場が寒かった
運営の皆さんの対応がとてもよかったです。ありがとうございました。
良いことをしていると感じました。
問題提起型の講演でした。これをきっかけに輪が広がることを期待します。